『3年ぶりに開催された獅子舞』

テンツクテンツクテンテンツクツクと令和5年1月1日恒例の獅子舞が3年ぶりに帰ってきました。場所はグループホームの庭先、横4メートル縦8メートル程の広さの両側に20名ほどの椅子が用意され、利用者が首を長くして待っていました。いよいよお囃子の音が大きくなり関係者、見学の方等50名近くの前で獅子舞が始まりました。2頭の獅子が舞い最後は、ひょっとこの舞で終わりました。

獅子舞を舞う人と知り合いの利用者もいたようで、懐かしそうに言葉を交わしていました。ほんのひと時でしたが、コロナ禍から脱し以前の正月が戻ってきた気がしました。このまま以前の生活が送れる事を念じつつ、1年の初めを迎えたひと時でした。

（羽田仲七町会）

躍動感あふれる獅子舞

『わが町会の市民消火隊6人の勇士達』

わが町会の市民消火隊の歴史は、10余年と長いものではなく、メンバーもH消火隊長はじめ6名は経験10年未満の者で編成されています。しかし、年齢構成は50歳台が中心であり、なんと今年20歳を迎えたS君もお父さん隊員と一緒に訓練に参加しています。因みにS君は高校生時代より隊員として活躍が認められ、一昨年「模範少年」として大田区より表彰されました。

市民消火隊の訓練は、蒲田消防団第四分団の指導の下で放水訓練をはじめとした操法訓練を年10回、更に町会主催の防災訓練では、日頃の成果を披露します。その中でも、青年隊員S君は注目の的であり拍手は一段と大きいです。

いつ起こるとも知れない災害に対し、日頃地道に訓練を続ける隊員と指揮を執るH隊長の士気は高く、正に町会の勇士の姿であります。

これに続く勇士よ来たれ！そして我が町を皆で守ろう！

（羽田大鳥居町会）

市民消火隊の放水訓練

『羽田高齢者学級の活動』

昭和51年に産声を上げ、高齢者の健康向上を目的に文化系と運動系の学部を設け、年間100名から150名（今までに延べ約7千名）が受講しております。時代の変遷に併せて、受講科目は変わってきておりますが自分の趣味をより深め、健康維持のためなど様々な目的をもって受講されています。日常生活を前向きに捉えておられる方がいかに多いかを痛感しました。

コロナ感染拡大に伴い、ここ3～4年受講者の激減と休講などで十分な活動ができませんでしたが、今年5月にコロナが5類になり受講者もコロナ前の150名越えに戻り、7科目（詩吟・書道・デジカメ・カラオケ体操・太極拳・ゲートボール・グラウンドゴルフ）を開講し年2回の成果発表会や区文芸作品展に出品などを予定しております。人生100年に向かいこれからも頑張ってまいります。

地域20シニア会に在籍の方は、どなたでも受講できます。（途中入会も可）受講をお待ちしております。

（高齢者学級学長　鳴島　攻）

書道の様子

『第1回オーベルフリマ開催！』

5月晴れにしては少し暑く、それでも時折吹いてくる涼しい風に心地よさを感じる5月28日の日曜日。オーベルグランディオとしては初めてのフリーマーケットが開催されました。24枠のブースが埋まるのか、当日の人出や天気の具合はどうかと、試行錯誤の準備期間を過ごしました。

フタを開けてみれば24のブースは満員。来客もお昼3時間で150人を超える盛況ぶりでした。オーベルには駐車場の屋上に広場がありますが階数にすると3階くらいの高さで、お子さんをお持ちの方以外は中々縁のない場所でした。今回は17年ぶりの広場のお披露目も含め、幅広い年代の方にご来場いただきました。又、フリーマーケットの盛況のみならず「久しぶり！元気にしてた！」の声があちこちから聞こえ、コロナ後の交流の場を青空の下で設けられたことを意義深く感じた1日でした。

（オーベルグランディオ萩中自治会）

大盛況のフリーマーケット

『足腰鍛錬・多摩川清掃』

こよなく晴れた6月4日の朝。青空の下、仲東町会恒例の多摩川清掃が行われました。折しも台風2号と停滞前線により線状降水帯が発生。日本各地で豪雨による被害がもたらされている最中でした。熱中症対策に身を固め、クワやカマ、竹箒に草刈はさみを手に18名が集まりました。

この多摩川清掃は地域美化運動の一環として取り組んで来ましたが、今では町会の伝統行事としてコロナ禍にも休まずに続けてきました。この日は気温27度。コンクリートの割れ目や水の流れに沿って根を張った雑草との闘いは意外に苦戦。足腰にも響き、毎度のことながら環境に順応し大地に根を張る植物の生命力には驚かされます。水分補給の休憩を挟んで75分余り。落伍者も無くごみ袋20個分の成果で無事終了しました。

（羽田仲東町会）

清掃後の記念撮影

TOPICS

本羽田地区近隣四町会合同防災訓練（5月21日）

本羽田本町公園にて、本羽田一丁目町会、本羽田二丁目町会、羽田本町三丁目町会、本羽田三丁目都南自治町会と四町会合同の防災訓練が行われ、それぞれの町会のヘルメットやベスト等個性ある4色が集まり心1つに訓練開始！東京都に4台しかない防災カー「まちかど防災訓練車」をめがけて放水、スタンドパイプ操法訓練など行いました。蒲田署消防署員、消防団第5分団と真剣に取り組み「火災のない町、みんなで守ろう」と力を合わせることができました。

（本羽田三丁目都南自治町会）

消防隊員の指導で実施

都南自治町会

東京都に４台しかない防災カー
「まちかど防災訓練車」

当日は、「まちかど防災訓練車」にも来ていただき、地区の消防署員や消防団さまの指導の下、皆真剣に取り組むことができました。

参加者総数は地区の役員のほか市民消火隊、出雲小学校校長、PTA、近隣の人を含めると90名にのぼりました。

いざという時のために備えて訓練しておくことは重要であり必須です。ほかの地区に勝る充実した地区になるために今後も続けていけたらいいなと思います。

当日は怪我なく無事終了する事が出来ました。ありがとうございました。

（本羽田二丁目町会）

参加者の整列姿

大師橋架け替え見学会

5月末から、架け替え工事が始まる前に完成した橋を地元の人が見学できました。当日は晴天に恵まれ、工事用の階段を上り高速の高さまで行くと怖かったです。出来上がった橋を歩くのは気持ちよく、東京と神奈川の境を見にいきました。車では一瞬で通り過ぎてしまうので、羽田をゆっくり眺めることができました。この橋をたった2週間で架け替えると聞いたときは夜通しでやるのかと感心しました。その後解体に2年の期間を要すると知り、何事もなく無事終了する事を願い、橋を降りました。

この体験が紙面に載る頃は、完成した橋を見上げていると思います。

（羽田前河原町会）

見学の風景

老朽化が進んだ高速大師橋が6月リニューアルして開通することになり、架け替え直前現場見学会が西町、前河原、横町町会に案内がありました。当日は他の地域の方も見学ができ、西町では87歳の方も上っていました。工事の方が上がる階段なので、ヘルメットを着用し係の方も多数で案内してくれました。工事中のパネル展示、橋の上での記念撮影コーナー、お土産などもあり皆さん楽しんでいました。長い間工事現場近くに住んでいた方々も一安心していました。

（羽田西町会）

絶好の見学日和

「羽田・萩中文化センター お知らせコーナー」

羽田文化センターは羽田地区の施設整備に伴い、平成30年11月に新たに竣工しました。地域活動施設（集会室）は羽田地域力推進センター3階、体育施設（体育室）は羽田4丁目複合施設3階の2か所に分かれているのが特徴です。各室では様々なサークル・団体・個人の方が活動しています。

令和4年はコロナ禍の中、のべ3万人のご利用をいただきました。10月28日、29日には「文化センターまつり」の4年ぶりの開催を予定しています。

これからも地域文化活動の拠点としての羽田文化センターをよろしくお願いいたします。

【委員長】　伊藤幸子　【副委員長】　兼平恵美子　石井悦子　渡部昌子　【委員】廣島のりこ　小山幹雄　邉見昌尚　海津佐代子　長嶋寿子
鈴木勇　吉田由紀　鈴木由美　中根剛弘　大纏脩雅　宮下精二　良田光代　藪谷秀子　藤原かおり　田村孝子　高月忠秋